



五感をゆさぶる自然素材と「子どもあそび」の深まり

10月

・年長児が作る家を真似て、保育士にも手伝っていろいろな木ぎれを組み合わせる家を作りお家ごっこを楽しんでいる。

「ここ、(ぼく)たちの家だよー!!」「入ってもいいよ」「そこ靴も履いてから入ってね」「ほーい」



「ここに、おれ(ら)たちの家を作ろう! ここ座るところ!」



・コンテナに板をのせて、テラスを作り、お家ごっこ。

「ごはん作るよ!」「砂、持ってきた〜」



「ここは、(ぼく)の家だよ! おにい(ちゃん)!!」

・小さな木ぎれを積み木のように組み合わせる家を作っている。



「ほら! できたよ! (ぼく)たちの家!! 来て〜」

・年長児を真似て、木ぎれを組み合わせる屋根を作ることもできるようになった子ども達。



・木ぎれをイスにしたり、テレビにしたり、お家ごっこを楽しんでいて、今度は木ぎれを立てて組み合わせ、ビルを作っている。



鹿見島だよ〜 市内のビルに見立てている。

「ほら、こうやって削り出すんだよ! カッパ節だよ」

・木ぎれの間に土を入れ、こぼして、カッパ節削りリゴっこをしている。



・散歩に行った先に、登れそうな壁を見つけたら、登るのに挑戦した子ども達。



「温泉作るんだよ」「じゃあ水くんでくる」

「ももも!!」
・水にまよを作った足湯ごっこ。



・シラスをくずしては集めて、固めて...



「うわ、とわな! 手伝って〜!!」「引いばね〜」
「うんこ(ちゃん)よ! こい(ちゃん)よ! こい(ちゃん)よ! こい(ちゃん)よ!」
・草をとろうとした子の後ろに集まって大きなお家ごっこ。



「がんば〜れ!」